

低侵襲高度医療育成センター設置による人材育成・地域医療強化

愛媛大学病院が描く構造転換

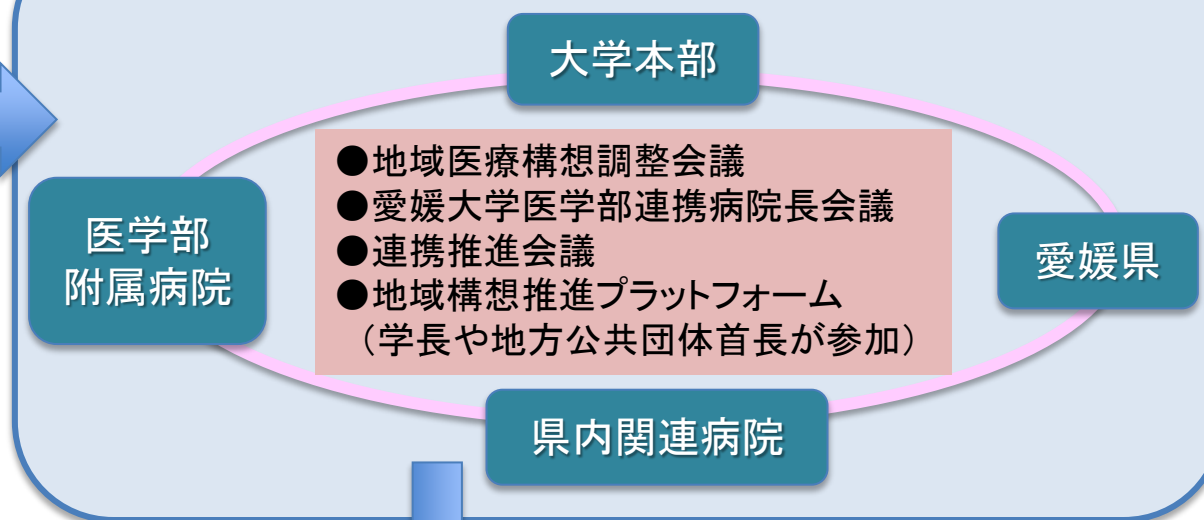
- (1) ICU・手術部門の機能強化
- (2) 看護師等の特定行為実施体制の強化
- (3) 医師のタスク・シフト(教育・研究へのシフト)
- (4) 高度先進医療の知識と技術を持つ医師の地域医療機関への派遣
- (5) 愛媛県及び地域の医療機関との協議の場の構築及び諸調整

◇ ICU・手術部門 看護師の強化 ※(1)(2)(3)の取組

◇ 低侵襲高度医療育成センター ※(4)の取組



◇ プラットフォーム構想 ※(5)の取組



期待される効果

- (I) 医療の質・安全性
 - ・低侵襲高度医療の標準化と安全性向上
 - ・高度先進医療の安定的・持続的提供
- (II) 人材育成・教育
 - ・低侵襲高度医療を担う若手医師・医学生の体系的育成
 - ・地域に高度医療人材を還元する教育モデルの確立
- (III) 地域医療連携・地域貢献
 - ・地域医療構想に即した役割分担と連携の深化
 - ・紹介・逆紹介を基盤とした医療ネットワークの強化
- (IV) 病院経営・運営効率化
 - ・高度医療を維持しつつ持続可能な経営基盤を確立
 - ・病床機能の最適化とICUの病床稼働率改善